

<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 英語教育の現状と今後の取組について 資料 1 ・ 生涯学習センター開館記念事業について 資料 2 - 1 ・ 学校給食のアレルギー対策について 資料 2 - 2 ・ 公益財団法人日本サッカー協会の J F A ころのプロジェクト 「夢の教室」に関する連携協定事業の概要について 参考資料
-------------	--

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
秋葉部長	1 開会 秋葉総合政策部長の進行により会議を開会
小島市長	2 あいさつ 小島市長から開会挨拶が行われた。
小島市長	3 議事 小島市長が議長となり、議事進行が行われた。
辻参事	(1) 英語教育の現状と今後の取組について 教育指導課（辻参事）から資料1に基づき、説明が行われた。
D委員	(質疑) 1 (2) ①AETの活用状況について、各小学校で週2回と週1回の違いがあるのはなぜなのか。
辻参事	5・6年生の英語の授業は必ず週1時間行っており、そこにAETを入れて実施しています。学級数が多い学校はそれだけ英語の授業時間が増えるということですので、AETを週2回派遣しなければ授業ができない学校と週1回派遣で間に合う学校があるというものです。
D委員	1 (1) では、平均点が表示されているようですが、この点数のバラつきというのは、その学年に優秀な生徒がいたからなのか、それともこれくらいの点数を取る生徒がたくさんいたからなのか。その理由は何かあるのか。
辻参事	この調査の目的は、生徒個人の成長の伸びを把握することが一番の狙いとなっているものです。 こちらの平均点は、全生徒の平均点として把握しているものです。 このテストは埼玉県が作成しているものであり、テストは、概ね6割程度の点数がとれるような構成になっているようです。点数のバラつきについては、年度により難易度が違うことが主な要因であると考えております。

D委員	<p>小学校の英語の内容は、ゲームや歌などを中心に行ったり、発音などに重点を置いたりして実施しているようだが、今、小学校で英語に取り組んでいる本来の目的は何なのか。</p>
辻参事	<p>現在の学習指導要領では英語に親しむというのが英語活動の一番の目的です。平成32年度には小学校でも教科化になるため評価が必要になります。</p> <p>今後は、読み・書き・聞くというところを中心に知識面も含めて、県の資料を確認・研究しながら進めてまいります。</p> <p>現在、5・6年生の英語活動として行われているものが、今後は3・4年生に移行するため、3・4年生が英語に親しみ、5・6年生が聞き、話す内容となり、その後の中学校に繋がっていくものです。</p> <p>中学校では英語授業数は増えませんが、小学校での英語活動を踏まえ、更なる連携を図ってまいりたいと考えております。</p>
A委員	<p>3・4年生から英語に親しんでいくということだが、他市町村では1・2年生から英語に触れている学校もあると聞いている。例えば、朝の10分間でもよいので、その時間を使って1・2年生から英語に触れる機会を与えるという考えはあるか。</p>
辻参事	<p>カリキュラムがあるため多くの時間はとれないが、空いている（余剰の）時間に1・2年生もAETと触れ合う時間を提供しています。</p> <p>今後は、御指摘のとおり、朝の数分でも時間確保ができるように充実したカリキュラムを考えてまいります。</p>
C委員	<p>英語が教科化となる背景には、日本のグローバル化が影響しており、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでたくさんの外国人の方が来日されるということが影響していると聞いている。</p> <p>これから小学生に英語教育をはじめ、約3年後に果たして子どもたちは英語を話せるようになるのか。</p>
辻参事	<p>先日、見学に行ったある中学校の授業風景では、授業中は先生も原則英語のみしか使用しないという授業の組立をしているところもありました。</p> <p>中学校では平成33年度から完全実施となりますが、その中で英語の授業中は、担任が原則英語のみで行うことになり、かなりの緊張感を持って授業に取り組むこととなります。</p> <p>今から、それを見据えて担任が英語を使い、生徒も会話に対する理解を深めており、少しずつではありますが定着しつつあるものと感じています。</p>

D委員	<p>英語活動は親しむことを目指しているという説明があったが、親しむとは具体的にどのようなことなのか。具体性という点では何か考えはあるのか。</p>
辻参事	<p>御指摘の具体性については、今後の課題であると認識しているところです。</p> <p>子どもたちへ英語に親しむ機会を提供することは、英語の年間計画をしっかりと考え、AETの本物の英語を聞いて答えるというコミュニケーションを主体に進められるように、カリキュラムづくりをしています。</p> <p>南小学校・中学校では、中学校の先生が小学校で授業を行うという人事交流もしており、新たな取組を入れつつ子どもたちが楽しみながら授業に参加できるようなカリキュラム作りを進めてまいりたいと考えています。</p>
長島教育長	<p>英語教育に関して2点お話しします。</p> <p>1点目は、昨年、ブラジルでリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催されました。その閉会式の際、「次は東京です。東京でお会いしましょう。」ということポルトガル語ではなく、英語で言っていました。共通語としての英語の必要性を感じました。</p> <p>2点目は、中学校の授業風景を見学に行った話です。</p> <p>ある生徒が英語によるお店屋さんごっこをみんなの前で披露していました。</p> <p>シナリオのない英語だけのやり取りでしたが、しっかりとコミュニケーションが取れていたところに関心いたしました。</p> <p>その他、小学校での英語に関して申し上げますと、今の小学校では、残念ながら教える先生方は英語の免許を持っていません。そのため、今後、英語が必須となった時に対応する際、先生を目指す今の大学生たちには、小学校でも英語が教えられるように単位を設定しているようですが、その学生たちが先生となるまでの期間やこれまで先生としてやってきた先生方についてどうなるのだろうかと思っています。</p> <p>先生の研修については、教育委員会主催ですが、今年も夏休み等に研修会を開催しています。来年度以降も引き続き先生のスキルアップのために開催していただき、先生方には自信を持って授業に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、毎年のことですが、AETの確保は必要です。引き続きAETを確保できるように市として取り組んでいきたいと思っています。</p>
B委員	<p>英語教育の現状について、学力・学習状況調査については、県内でも上位に位置しており、基礎学力がしっかりしていて、充実した英語教育の環境ができていると思っている。</p> <p>わたしが地方に旅行に行った際の話ですが、主要な観光地では日本人が少なく、たくさん外国人が来ている。外国語に慣れるためにも、日本人も外国人とたくさん触れ合う機会がないといけない。今後は、抵抗なく英語に対応できる小</p>

齋藤課長	<p>中学生の育成をお願いしたい。</p> <p>(2) その他の課題</p> <p>ア 生涯学習センター開館記念事業について</p> <p>生涯学習課（齋藤課長）から資料2-1に基づき、説明が行われた。</p>
A委員	<p>(質疑)</p> <p>平成30年8月の現図書館の閉館イベントの開催地はどちらで開催することになるのか。</p>
齋藤課長	<p>閉館イベントについては、平成5年にオープンしてから約25年が経過しておりますことから、写真の展示や市民の皆様から今の図書館に関する思い出の募集を行います。また、夏休み子ども講座やおはなし会なども企画しているところです。場所は今の図書館で実施してまいります。</p>
C委員	<p>開館記念事業の実施について、市民の方々がもっと本を借りに来たいと思えるしかけ作りがあるとよいのではないかと。</p>
齋藤課長	<p>開館記念事業の実施については、代表的な事業をお示しさせていただいております。これら以外のイベントについては、本市ゆかりの作家もいるため、その作家を紹介する企画展や音楽と本を楽しむための企画、著書の朗読会なども計画しています。</p> <p>また、歴史資料展示室では、埋蔵文化財の発掘調査結果の展示もしてまいります。</p> <p>その他、図書館のバックヤードの見学会も予定しています。</p>
河野参事	<p>イ 学校給食のアレルギー対策について</p> <p>教育総務課（河野参事兼課長）から資料2-2に基づき説明が行われた。</p> <p>(質疑) なし</p>
小島市長	<p>以上で、本日の議事は終了とする。</p> <p>円滑な議事進行にご協力を賜り、感謝申し上げます。</p>
篠塚課長	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本サッカー協会 JFA ことろのプロジェクト「夢の教室」事業について説明

<p>C委員</p> <p>篠塚課長</p> <p>C委員</p> <p>秋葉部長</p>	<p>・次回の総合教育会議について説明</p> <p>(質疑)</p> <p>夢の教室の取組はたいへんすばらしい事業である。 この取組は本年度のみなのか。来年度以降も続けて実施しないのか。</p> <p>来年度以降も継続的に続け、この事業を拡大していきたいと考えています。</p> <p>子どもたちにとってもたいへん夢のある事業なので、これからも継続的に進めていただきたい。</p> <p>5 閉会</p> <p>秋葉総合政策部長の閉会宣言により終了。 【11:50 終了】</p>
---	--